

欧州語の比較文型論

— プラハ学派文型理論に基づく欧州語文型の構築に向けて —

本 城 二 郎

1. 序論：欧州語の類型的特徴と文型的特徴

欧州語は、多様な言語圏と言語的特徴により特徴づけられる。各言語圏は、長期の言語接触の結果、独自の変化を遂げたと考えられる。それは、形態統語的特徴や類型的特徴のみならず（最抽象化の）文型的特徴にも顕著である。本論文では、スラブ語・バルト語など総合言語 vs. ゲルマン語・ロマンス語など分析言語を中心域に、ウラル語・ケルト語・北欧ゲルマン語/バスク語・マルタ語などを周辺域/移行域とする地域言語学的観点から、20世紀に理論的発展・完成を見たプラハ学派文型理論に基づき、欧州語文型比較を試みる。欧州語文型論構築への一貢献となれば幸いである。本論の主な目的は、多様な類型的特徴を持つ欧州語の文型がどのような基準でタイプ分けが可能か、それがどのような文法構造と意味構造、さらにはそれらの複合構造を示すことにより潜在的最小発話としての文型の抽出が可能になるのかを探ることである。理論的基礎としては、近年（20世紀後半）に大きな発展を見た言語学派文型理論を援用することにする。

2. 欧州語 (Eur.) の述語動詞 vs. 日本語 (J.) の述語の分類と文型

文法文型論の立場に立つと、欧州語の述語動詞が支柱語として専ら動詞文を構成するのに対して、日本語の述語は、同じく支柱語として、主に動詞文と形容詞文と名詞（一ダ）文の3種を構成することがよく知られている。それに対応して、主要な文法（統語）カテゴリーの一つである結合価は、両者とも、3つ（下位のものを含めると4つ）の示差的特徴の有無により類別可能である。繫辞性と左方結合価性と右方結合価性（それに目的語項結合価性）がそれらに相当し、文法文型 (G S P) は、欧州語 (Eur.) : 動詞述語文/繫辞文、両枝文/単枝文、項結合価述語文/φ項結合価述語文、(目的語項述語文/非目的語項述語文) に類別可能であるのに対して、日本語 (J.) : 動詞述語文・形容詞述語文/一ダ名詞述語文 (= 繫辞文)、両枝文/単枝文、項結合価述語文/φ項結合価述語文、(格助詞項結合価文 = 目的語項結合価文/副詞・補語項結合価文 = 非目的語項結合価文) に分類される。他方、主要な意味（統語）カテゴリーの一つであるインテンションが、共に、

4つの示差的特徴つまり動作性・完結性・分節性・意図性を示すことから、当該の特徴の有無により、意味文型（SSP）の設定が比較的容易であるように思われる。しかし、例えば、英語(E.): He has a watch/チェコ語(Cz.): On má hodinky/ 日本語(J.): 「彼は時計を持っている」 ⇨ E.: The watch belongs to him/ Cz.: Hodinky patří do němu/ J.: 「時計は彼のものだ」のような意味的シノニムや、E.: She teaches linguistics/ Cz.: Ona učí jazykovedu/ J.: 「彼女は言語学を教えている」 ⇨ E.: She is a teacher of linguistics/ Cz.: (Ona) je učitelka jazykovedy/ J.: 「彼女は言語学の先生です」のような意味的ホモニムの現象に見られる文法と意味との非対称的二重性の結果、現実的には多様な個別言語的意味バリエーションが存在し、意味関係を一義的に特徴づける不変項の設定は困難と考えられる。解決法としては、通言語的に妥当な認知内容の類別化および文法文型によるそれ（つまり認知内容）の修正を通じての意味文型設定が有効と見なされる。前者の手段としては、関係論理学に基づく述語インテンションの意味公式（SF^{*)}化があり、上記の4示差的特徴による類別が可能である。後者の手段としては、文法文型および（意味公式から派生される）意味文型を包括する複合文型（CSP）があり、以下の文型記述はそれに従う。

2. 1. 文法文型（GSP）と結合価（VALENCY^{*)}）

結合価の3つの示差的特徴に基づく文法文型は、次の6タイプに分類可能であり、それぞれのタイプを特徴づける個別の文型に対して具体例の列挙が可能となる。

・ 繫辞性がある：繫辞文：Eur.: “be” 動詞；J.: 一ダ・イル・ナル名詞述語文
ない：Eur.: 動詞述語文；J.: 動詞述語文／形容詞述語文

・ 主格（Eur.: 主格／左方；J.: 一ガ格）結合価がない：単肢文
ある：両肢文

・ 非主格（Eur.: 非主格／右方；J.: 非一ガ格）結合価がない：非項結合価述語文
ある：項結合価述語文

→ 目的語項（Eur.: 斜格；J.: 一ヲ／ニ格など）結合価がない：副詞・補語項結合価文
ある：目的語項結合価文

欧州語の文型と述語動詞結合価：文の基本構造を固定させる働きをもった文を文型と呼ぶ。それは、少なくとも1つ（以上）の定動詞から構成され、文の最小単位となる。定動詞は、（時制・法・人称・数などを示す）述語の機能と、（文中の他の項との可能な種類の結合を示す）結合価を持つ。以下に、定動詞の結合価による欧州語文型の分類を試みる。なお、具体例の詳細は、2. 4を参照。

（表記法）VF：定動詞；N：名詞；ADV：副詞（的修飾語）；ADJ：述語形容詞（的補語）；SENT：文／従属節；INF：不定詞；-：結合子；N_{主格}やADV_{場所}等における下つき縮小文字は各語類の（文法／意味）範疇子

例 1 : 単肢非主格結合価繫辞文の構造 :

Eur.: VF 繫辞 + N/ADJ J.: N/ADJ + VF 繫辞 「いい天気だった / 静かだった / 雨だった」

☞ J.: 「暖かい / だ」が同じ文型で、2. 4の③状態 / 現象文に相当する。

英語 : It was a nice weather/quiet/raining. 独語 : Es war Schönwetter/ruhig/regnete.

仏語 : C'était beau temps/calme/Il pleuvait. ポルトガル語 : Era bom tempo/Estava

quieto/Estava chovendo. バスク語 : Eguraldi ona/Lasaia/Euria izan zen. マルタ語 :

Kien temp Nizza/Kienet kwieta/Huwa ix-xita. アイルランド語 : Bhí sé aimsir go

deas/ciúin/Bhí sé ag cur báistí. チェコ語 : Bylo to hezké počasí/ticho/Pršelo.

ブルガリア語 : Беше хубаво време/тихо/Валеше. ロシア語 : Это была хорошая

погода/Было тихо/Шел дождь. アルバニア語 : Ajo u motit të mirë/ Ajo ishte e qetë/

Ajo ishte shi. リトアニア語 : Tai buvo gražus oras/rami/Jis buvo lietus. フィンランド

語 : Se oli mukava sää/hiljainen/Satoi.

2. 2. 意味文型 (SSP) とインテンション*3に基づく意味公式 (SF)

文法文型 (GSP) が述語により異なる結合価という関係子に基づき、結合価要素との文法関係を表示すると平行して、意味文型 (SSP) は、述語により異なるインテンションという関係子に基づき、意味内容要素との意味関係を表示することによって、文型全体 (: 複合文型) が確定するとする見方がある。これは、プラハ言語学派の文型モデルとして主に戦後のチェコ語学者達により開発・発展された機能的文型論の一つである。それによると、文型における意味関係とは、結合価を持つ述語動詞とそれが支配する結合価要素との間に設定可能な意味文型に相当するものと解釈可能であり、意味文型は、個別言語において異なる多様な個別言語的意味バリエーションを示すことから、広く認知内容としての意味公式 (SF) の文法・統語的修正 (つまり SF 要素の形態統語役割の確認) を通じてのみ設定可能となる。以下に、最終目標としての複合文型のタイプ分けのための必要条件として、示差的特徴を持つ述語の意味公式 (SF) に基づき、文型のタイプ分けを試みる。

意味公式 (SF) ➔	文法文型 (GSP) による修正 ➔	意味文型 (SSP)
/安定的/	/安定的・個別言語的/	/個別言語的/

1 類. 状態述語 : - 動作性 *states : s*

1-1 類. 2 項状態述語 : + 分節性 *xLy, xLCy, xPy, xPMy, xQy, xQNy*

1-2 類. 1 項状態述語 : + 分節性 *xE, xPOS*

1-3 類. 非分節状態述語 : - 分節性 *E*

2 類. 動作述語 : + 動作性

2-1 類. 過程述語 : + 動作性、- 完結性 *processes : p*

2-1-1 類. 動作過程述語 : + 意図性 *action processes (actions) : xPRp, xAp(y,z)*

- 2-1-2類. 非動作過程述語：一意図性 *non-action processes* : xBp, xBp(y,z)
 2-1-3類. 非分節過程述語：一分節性 PR
 2-2類. 変化述語：+動作性、+完結性 *mutations* : m
 2-2-1類. 動作変化述語：+一意図性 *agentive mutations/actions* : xA ($\Delta^1T\Delta^2$) ※4
 2-2-2類. 非動作変化述語：一意図性 *Inchoatives* : $\Delta^1T\Delta^2$
 2-2-3類. 非分節動作変化述語：一分節性 T
 例2. 2-2-1類. 移動変化述語「空にする」：+一意図性

日本語の文型：

J: 「彼は (ビール) の グラスを空にした」

SF : xA ($\Delta^1T\Delta^2$) > xA ((yLCz)T(yLCz)) ※6 ← $\Delta^1T\Delta^2$ 移動変化文

xA ((yLCz)T(yLCz))

S F

N_{主格} (一ハ) 化主格 — (N_{非主格} (一ヲ) —) N_{非主格} (一ヲ) — PF

G S P

↓ N_{主格} ~ x ~ AGENT, N_{非主格} (一ヲ) ~ z ~ LOCUS, N_{非主格} (一ヲ) ~ y ~ LOCATUM ↓ /修正/

AGENT (CONTENT) CONTAINER REMOVAL

S S P

解釈：「彼は～を～にする」： xA ($\Delta^1T\Delta^2$) :

「x : 「彼 (N_{主格} (一ハ) 化主格)」が $\Delta^1T\Delta^2$ つまり移行・変化「空にする」のA : 動作主である」

「(ビール) の グラスが空になる」： (yLCz)T(yLCz) :

「(yLCz) つまり y : 「ビール」が z : 「グラス」と LC : 共存する状態から、(yLCz) つまり共存しない状態に変わる」

欧州語 (>英語/チェコ語) の文型：

英語 : He made his glass (of beer) empty. チェコ語 : Vyprázdnil sklenici (z) piva.

SF : xA ((yLCz)T(yLCz))

S F

N_{主格}—VF_{3人称単数男性}—N_{対格} (—N_{斜格})

G S P

↓ N_{主格} ~ x ~ AGENT, N_{対格} ~ z ~ LOCUS, N_{属格} ~ y ~ LOCATUM ↓ /修正/

AGENT—REMOVAL—CONTAINER=LOCUS(—CONTENT=LOCATUM) S S P

解釈：「He/(On)は～を～cause|make/vy-する」： xA ($\Delta^1T\Delta^2$) :

「x : He/On (N_{主格})」が $\Delta^1T\Delta^2$: 変化「make empty/vyprázdnit」のA : 動作主である」

「the glass (of beer) became empty/sklenice (z piva) se stala prázdná.」 :

(yLCz)T(yLCz) : 「(yLCz) つまり y : 「beer/pivo」が z : 「glass/sklenice」と LC : 共存する状態から、(yLCz) つまり共存しない状態に変わる」

2. 3. 文型と最小発話

文型は、述語動詞とそれが支配する結合価要素により構成される文法文型 (G S P)、それに述語動詞のインテンション (意味内容) とそれが意味関係を結ぶ意味役割子により

構成される意味文型（SSP）とに分類可能である。述語動詞が結合価の支配により特徴づけられるという点で、文法文型は比較的独立した構成原理により設定可能である。他方、述語動詞の意味レベルにおける対応物であるインテンションが潜在的に文法的ポリセミーや意味的シノニム等の現象を内在させることから、意味文型は多義的でバリエーションも排除されず、安定的な構成原理による設定は困難である。個別言語の意味変異に根差した不安定な意味レベルは、通言語的に同一で安定的と見なされる認知内容のレベルを設定し、それと同じく安定的な文法レベルとの両者により規定されるという前提に立てば、意味文型は認知内容を表示する意味公式（SF）を文法文型を通して修正した結果と考えることができる。これは、いわゆる文法・統語の意味を意味文型が専ら扱うことから自明のことと考えられる。文法文型と意味文型が統合したものを複合文型と呼ぶ。

言語の階層構造に対応するレベル間の相違は、外層→内層の抽象化および内層→外層の現実化という2方向を指向し、（認知内容→）文型→発話および発話→文型（→認知内容）がそれらに相当する。抽象化の度合いの高い文型は、文脈の影響を受けないことから、単独で、いわゆる最小発話（つまりポシヤルな発話）を構成すると見なされる。

2. 4. 欧州語の複合文型のタイプと比較分析

文法文型（GSP）と（SF）に基づく意味文型（SSP）は、複合文型（CSP）と呼ばれ、諸例の比較観察を通じて、欧州語文型の列挙とタイプ分けが可能となる。

主な欧州語（：類型タイプ）としては、SAE（標準均一欧州語）の中心域と周辺域の両域を網羅すべく、ゲルマン語（英語：分析 SVO 言語^{*7}、独語：分析 V2nd 言語）、ロマンス語（仏語：分析 SVO 言語、ポルトガル語；分析(S)VO 言語、バスク語：分析 SOV 言語、マルタ語：内屈折 SVO 言語、ケルト語（アイルランド語：屈折 VSO 言語）、スラブ語（チェコ語：屈折 SVO/固定前倚辞&自由語順言語、ブルガリア語：屈折>分析 SVO 言語、ロシア語：屈折 SVO 言語）、バルト語（リトアニア語：屈折 SVO&自由語順言語）、ウラル語（フィンランド語：膠着 SVO&一部自由語順言語）を比較分析の対象とする。

① 1-1 タイプ QL：＝属性文＝「彼は金持ちだ」：SF: xQLy

英語：He is rich. N_{主格}—VF_{3人称単数男性}—ADJ_{属性} → BEARER—QUALITY

独語：Er ist reich. 仏語：Il est riche. ポルトガル語：Ele é rico. バスク語：Aberatsa da.

マルタ語：Hu sinjur/ Huwa sinjuri. アイルランド語：Tá sé saibhir. チェコ語：On je

bohatý/ Je bohatý. ブルガリア語：Тоѝ e богат. ロシア語：Он богат/Он богатый. アル

バニア語：Ai ēshtë i pasur. リトアニア語：Jis yra turtingas. フィンランド語：Hän on

rikas.

② 1-2 タイプ E：＝存在文＝「神はいない」：SF: xE

英語：There is no God. N_{主格}—VF_{3人称単数} → EXISTENCE—PHENOMENON

独語: Es gibt keinen Gott/ Da ist kein Gott. 仏語: Il n'y a pas de Dieu. ポルトガル語: Não há Deus. バスク語: Ez dago Jainkoa ez da. マルタ語: Hemm ebda Alla/ M'hemm l-ebda Alla. アイルランド語: Níl aon Dia. チェコ語: Není žádný bůh. ブルガリア語: Няма Бог/ Бог не съществува. ロシア語: Нет Бога/ Есть Бога нет. アルバニア語: Nuk ka Perëndi. リトアニア語: Yra ne Dievas/ Yra nėra Dievas. フィンランド語: Ei ole Jumalaa/ On Jumalaa ei ole.

- ③ 1-3 タイプ S : = 状態/現象文 = 「(今日は) 暖かい (です)」: SF: S

英語: It is warm (today).

Pron 中性主格—VF₃人称単数中性—ADJ/ADV 性質(—ADV 時): 単肢非主格結合価繫辞文

↓ PHENOMENON/STATE

独語: Es ist warm./ Heute ist es warm. 仏語: Il fait chaud/ Il fait chaud aujourd'hui. ポルトガル語: Está quente/ Está quente (hoje). バスク語: Bero da/ (Gaur) bero da. マルタ語: Huwa shun/ Huwa shun (illum). アイルランド語: Is te/ Is te (lá atá inniu ann). チェコ語: Je to teplo/ (Dnes) je teplo. ブルガリア語: Топло е/ Тя е топло (днес). ロシア語: Это тепло/ Это тепло (сегодня). アルバニア語: Ajo është e ngrohtë/Ajo është e ngrohtë (sot). リトアニア語: Tai yra šiltas/ (Šiandien) ji yra šiltas. フィンランド語: Se on lämmin/ (Tänään) on lämmin.

- ④ 2-1-1 タイプ Ap : = 動作過程文 = 「彼は指導者に続いた」: SF: xAp(v)

英語: He followed a leader. N 主格—VF₃人称単数男性—N 対格

↓ AGENT—PROCESS—PROCESSOR

独語: Er folgte einem Führer. 仏語: Il a suivi un chef de file. ポルトガル語: Ele seguiu um líder. バスク語: Lider jarraitu (zuen). マルタ語: Huwa segwa mexxej. アイルランド語: Lean sé ina cheannaire. チェコ語: (On) následoval vůdce. ブルガリア語: Той последва лидер. ロシア語: Он последовал за лидером. アルバニア語: Ai pasoi një lider. リトアニア語: Jis po lyderis. フィンランド語: Hän seurasi johtaja.

- ⑤ 2-1-2 タイプ Bp : = 状態過程文 = 「木は花開いている」: SF: xBp

英語: Trees are blooming. N 主格—VF₃人称単数 → BEARER—PROCESS

独語: Bäume blühen. 仏語: (Les) arbres sont en fleurs. ポルトガル語: (As) árvores estão florescendo. バスク語: Zuhaitzak ere lore da. マルタ語: Il-sigar huma fjuri. アイルランド語: Crainn ag fás. チェコ語: Stromy rozkvětají/kvetou. ブルガリア語: Дърветата цъфтят. ロシア語: Деревья цветут. アルバニア語: Pemë lulëzim. リトアニア語: Medžiai žydi/Žydi medžiai. フィンランド語: Puut kukkivat/kukintaa.

- ⑥ 2-1-3 タイプ Bd : = 現象過程文 = 「雨が降っている」: SF: xBd

英語：It is raining. Pron 中性主格—VF₃人称単数中性 → BEARER—PROCESS

独語：Es regnet. 仏語：Il pleut/Pluie. ポルトガル語：Está chovendo/Chove. バスク語：Euria da beheranzko. マルタ語：Huwa ix-xita. アイルランド語：Tá sé ag cur báistí/Báisteach. チェコ語：Prší. ブルガリア語：Вали/Дъжд. ロシア語：Это идет дождь/Дождь. アルバニア語：Bie shi/Shi. リトアニア語：Lyja/Lietaus. フィンランド語：Sataa/Sade.

⑦ 2-2-1 タイプ LC：=移動変化文=

「彼は（ビールの）グラスを空にした」：SF: xA((yLCz)T(yLCz))^{*5}← Δ¹TΔ²

英語：He emptied his glass (of beer). <He made his glass (of beer) empty.

N_{主格}—VF₃人称単数男性—N_{対格}（—N_{斜格}）,

↓ N_{主格}~x~AGENT, N_{対格}~z~LOCUS, N_{属格}~y~LOCATUM

AGENT—REMOVAL—CONTAINER=LOCUS(—CONTENT=LOCATUM)

独語：Er leerte sein Glas Bier. 仏語：Il a vidé son verre de bière. ポルトガル語：Ele esvaziou seu copo de cerveja. バスク語：Berretsi hustu bere garagardo edalontzi. マルタ語：Hu mbattla tieghu tal-ħgieg tal-birra. アイルランド語：He fholmhú a gloine beorach. チェコ語：Vyprázdnil sklenici (z) piva. ブルガリア語：Той изпразни своята чаша бира. ロシア語：Он опустошил свой стакан пива. アルバニア語：Ai zbrazur gotë e tij të birrës. リトアニア語：Jis ištuštinamas/ištuštinti jo stikline alaus. フィンランド語：Hän tyhjensi hänen lasillisen olutta.

⑦' 2-2-1 タイプ p：=過程変化文=「彼は彼女を笑わせた」：SF: xA(p(y)Tp(y))← Δ¹TΔ²

英語：He made her laugh. N_{主格}—VF₃人称単数男性—N_{対格}—INF/VN_{斜格}

↓ N_{主格}~x~AGENT, N_{対格}~y~PATIENT/PROCESSOR, INF/VN~PROCESS

AGENT—CAUSATION—PATIENT—CAUSED PROCESS

独語：Er machte sie zum Lachen. 仏語：Il la fait rire. ポルトガル語：Fê-la rir. バスク語：Bere barre egin zuen. マルタ語：Huwa ghamel tidhaq taghha. アイルランド語：Déanann sé di gáire. チェコ語：Rozesmál ji/On ji rozesmál. ブルガリア語：Той я накара да се смеят. ロシア語：Он сделал ее смех. アルバニア語：Ai e bëri qesh saj. リトアニア語：Jis padarė ją juoktis. フィンランド語：Hän teki hänet nauramaan.

⑦" 2-2-1 タイプ L：=動作移動変化文=「彼は立ち去った」：SF: xA((xLy)T(xLy))← s¹Ts²

英語：He went away. N_{主格}—VF₃人称単数男性—ADV → AGENT—PROCESS

N_{主格}~x~AGENT/PROCESSOR

独語：Er ging weg. 仏語：Il s'en alla. ポルトガル語：Ele foi embora. バスク語：Alde egin zuen. マルタ語：Hu mexa boghod. アイルランド語：Chuaigh sé ar shiúl. チェコ

語：(On) odešel (pryč). ブルガリア語：Той си отиде. ロシア語：Он ушел. アルバニア語：Ai shkoi larg. リトアニア語：Jis nuėjo. フィンランド語：Hän meni/lähti pois.

⑦^m 2-2-1 タイプ PR：= 動作過程変化文=

「彼女は（突然）笑い出した」：SF: $xA((xPRy)T(xPRy))$ ← p^1Tp^2

英語：She began to laugh (suddenly).

N_{主格}—VF_{3人称単数女性} (—N_{前置格/INF/RFL} 対格)

↓ N_{主格}~x~AGENT=PATIENT, RFL_{対格}~y~PATIENT

PROCESSOR= PATIENT—PROCESS

独語：Sie begann (plötzlich) zu lachen. 仏語：Elle se mit à rire (tout à coup). ポルトガル語：Ela começou a rir (de repente). バスク語：Barre (Baratean) hasi zen. マルタ語：Hija bdiet tidhaq (f'daqqa). アイルランド語：Thosaigh sí ag gáire (go tobann). チェコ語：Začala se smát (najednou). ブルガリア語：Тя започна да се смее (внезапно). ロシア語：Она начала смеяться (внезапно). アルバニア語：Ajo filloi të qesh (papritmas). リトアニア語：Ji pradėjo juoktis (staiga). フィンランド語：Hän alkoi nauraa (yllättäen).

⑧ 2-2-2 タイプ QL：= INCHOATIVES/非動作変化文=

「グラスは空になった」：SF: $\Delta^1T\Delta^2$ (Δ^1 : $(xQLy)\neq\Delta^2$: $(xQLy)$)

英語：The glass became empty.

N_{主格}—(RFL_{対格}) VF_{3人称単数}—ADJ_{単数}

↓ N_{主格}~x~PATIENT¹, RFL_{対格}~y~PATIENT²⁼¹,

PATIENT=CONTAINER—MUTATED PROCESS

独語：Das Glas leer geworden. 仏語：Le verre est devenu vide. ポルトガル語：O vidro tornou-se vazio. バスク語：Beira hutsik geratu zen. マルタ語：Il-ħgieg sar(et) vojta. アイルランド語：Tháinig an ghloine folamh. チェコ語：Sklenice se stala prázdná. ブルガリア語：Стъклото става празна. ロシア語：Стекло стало пусто. アルバニア語：Xhami u bë e zbrazët. リトアニア語：Stiklas tapo tuščia. フィンランド語：Lasi tuli tyhiä.

⑨ 2-2-2 タイプ PM：= 情報（心情）変化文= (PM: *verba dicendi/verba sentiendi*)

「彼は私に今年の旅行について/のことを話してくれた」：SF: $xA((xPMz)T(yPRz))$ ※⁶

英語：He told me about the trip of the year.

N_{主格}—VF_{3人称単数男性}—N_{与格}—N_{前置格/INF}

← pm^1Tpm^2

↓ N_{主格}~x~AGENT/M.POSSESSOR¹, N_{与格}~y~RECIPIENT/M.POSSESSOR²

↓ N_{前置格}(—接続詞 SENT/INF)~z~PATIENT/M.CONTENT

SENDER=M.POSSESSOR—SENDING=M.POSSESSION—RECIPIENT—INFORMATION=M.CONTENT

独語：Er erzählte mir von der Reise des Jahres. 仏語：Il m'a dit au sujet du voyage de l'année. ポルトガル語：Ele me contou sobre a viagem do ano. バスク語：Esan zidan urteko bidaia buruz me. マルタ語：Dan qalli dwar il-vjaġġ tas-sena. アイルランド語：Dúirt sé liom mar gheall ar an turas na bliana. チェコ語：Řekl mi o letošní cestě. ブルガリア語：Той ми разказа за пътуването на годината. ロシア語：Он рассказал мне о поездке год. アルバニア語：Ai më tha në lidhje me udhëtimin e vitit. リトアニア語：Jis man pasasakojo apie šių metų kelionės. フィンランド語：Hän kertoi minulle vuoden matka.

⑩ 2-2-3 タイプ s : = 状態/現象変化文 = 「暗くなった」: SF: $\Delta^1 T \Delta^2$ ($\Delta^1: s^1 \neq \Delta^2: s^2$)

☞ 1-3 タイプ: 状態/現象文(SF:S)の sTs 形

英語：It became dark. Pron 中性主格—VF₃ 人称単数中性—RFL 対格/ADJ 単数中性

↓ MUTATED PHENOMENON/STATE

独語：Es wurde dunkel. 仏語：Il est devenu sombre. ポルトガル語：Tornou-se escuro. バスク語：Ilun geratu zen. マルタ語：Hija saret dlam. アイルランド語：Bhí sé dorcha. チェコ語：Setmělo se/Stalo se tma. ブルガリア語：Стана тъмно. ロシア語：Стало темно. アルバニア語：Ajo u bë e errët. リトアニア語：Jis tapo tamsus. フィンランド語：Siitä/Se tuli pimeää.

3. 結論

欧州語文型の比較分析を試みた結果、以下のような統語類型の特徴が抽出された。

- i. 状態述語の文型は、属性文が SVC^{*7} (分析/屈折/膠着 SVO 言語：ゲルマン語/ロマンス語/スラブ語/バルト語/アルバニア語/フィンランド語) か CV (分析 SOV 言語：バスク語) か SC (内屈折 SVO 言語：マルタ語) か VS (屈折 VSO 言語：アイルランド語) で、存在文が s_{形式主語} VS(<o) (分析 SVO 言語：ゲルマン語/ロマンス語) か SV (バスク語) か VS (マルタ語/アイルランド語/スラブ語/アルバニア語/バルト語/フィンランド語) で、非分節の状態/現象文が s_{形式主語} VC (ゲルマン語/マルタ語/アルバニア語/リトアニア語/フィンランド語) か CV (バスク語) か VC (アイルランド語/チェコ語) で、それぞれ表示される。
- ii. 動作述語の文型は、特に、非分節の文に多様な変異が確認された。現象過程文は s_{形式主語} V (英語/独語/仏語&ロシア語) か SV (バスク語) か SC (マルタ語) か Vs_{形式主語} (アイルランド語) か V (ポルトガル語/他のスラブ語) で、状態/現象変化文は s_{形式主語} VC (英語/独語/仏語&マルタ語/ロシア語/アルバニア語/リトアニア語) か s_{形式主語}

CV (バスク語) か Vs 形式主語 (アイルランド語) か VC (ポルトガル語/チェコ語他) で、それぞれ表示される。

- (注) *¹ 「SFとは、相関関係(潜在的には、文形成)機能の観点から関与的であるような述語特徴の記号記載事項である」(Daneš et al.(1987), p.52 の抄訳)
- *² 「VALENCY (結合価): 位置や表示子により形式的に示される形式要素を結合する語彙素や句のカテゴリ的容量」(Čermák(1997),p.396 の抄訳)
- *³ 「インテンション (INTENSION): 単語等の正しい使用を条件付けるような意味素性・属性の総体」(Čermák(1997),p.335 の抄訳)
- *⁴ xA ($\Delta^1T\Delta^2$) の使役性 (causativeness) に関しては、2. 4 の⑦を参照。
- *⁵ ⑦全体は、すべて xA ($\Delta^1T\Delta^2$) つまり動作主が引き起こす変化を表すので、対応する動詞を *causative* でくることが可能である。特に⑦" ⑦^mは動作主 (x) が変化 (T) に直接関与することから、*autocausative* と呼ばれることがある。
- *⁶ 情報や心情等の所有における変化を意味する述語動詞は、それぞれ *verba dicendi* や *verba sentiendi* と呼ばれ、SF では関係子 PM で表示される。
- *⁷ S/V/O/C 等は、語順類型論で汎用・一般化されている統語要素を指す。

参考文献:

- Čermák, F.(1997): *Jazyk a jazykověda (Language and linguistics)*, PI::Praha.
- Daneš, F. et al.(1987): *Větné vzorce v češtině (Sentence patterns in Czech)*, Academia:Praha.
- Daneš, F. (1994): 'The Sentence-Patern Model of Syntax', *The Prague School of Structural and Functional Linguistics* (John Benjamins Publ.) , pp.197-221.
- Firbas, J.(1992): *Functional sentence perspective in spoken and written communications*, Cambridge University Press:Cambridge.
- 『言語学大辞典セクション: ヨーロッパの言語』1998年、三省堂:東京.
- 南不二男 1993. 『現代日本語文法の輪郭』(大修館書店)
- 本城二郎 2005. 「チェコ語の文型の機能構造: 結合価と FP(機能的構成)を中心として」、*NIDABA* No.34, pp.77-86.
- 本城二郎 2009. 「チェコの言語学最前線—プラハ言語学派文型理論に基づく日本語文型の構築に向けて—」、『言語文化学会論集』第33号, pp.69-80.
- Kurzová, H.(1997): "Morphosyntactic processes in Europe," *Proceedings of LP (Ed.by B. Palek)*, Charles University Press:Prague.
- Wikitravel:会話集一覧 (2014): 「ヨーロッパ」